

事業シート(令和4年度予算)

事業名	22200 賦課徴収事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	着実な計画の推進	市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略		
			項	2	徴税费	根拠計画			
			目	2	賦課徴収費				
担当課	財務部 税務課	内線	2140						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 公平で正確な固定資産税等の賦課を行う。 確実な収納が見込める特別徴収(市民税)の割合を高める。 コンビニ収納や口座振替の推進により、収納率の向上を図る。 市税関係団体への支援等を行う。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 法令に基づく適正な固定資産税の評価を実施する。 給与支払者である事業者等に対し、文書や訪問により特別徴収の利点の周知を図る。 コンビニ収納や口座振替を推進し、納税者の利便性の向上を図る。 各団体へ負担金、補助金を支出することで団体の円滑な事業推進を支援する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2			R3		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	104,397	88,158	98,433			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他()						
一般財源	104,397	88,158	98,433			
個票枝番	主な事業内容					
	固定資産土地現況調査、土地鑑定評価ほか	40,400	34,549	33,000		
	市税コンビニ収納	2,700	3,303	3,600		
	市税還付金	50,000	40,673	50,000		
	軽自動車車検情報システム負担金	410	330	410		
	市税キャッシュレス決済	400	462	400		
	たばこ販売美化活動推進事業補助金	600	537	600		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額	132,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
141,588	140,078	140,078	41,645
141,588	140,078	140,078	41,645
査定額	説明		
75,200	標準宅地鑑定評価(評価替え翌年度)の増		
3,700	市税コンビニ収納代行委託料		
50,000			
410			
400			
550			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度評価替えの時価路線価の評定 徴収強化月間における各徴収担当課連携による一斉催告・財産調査 県税職員と市職員連携による電話催告 クレジット収納等によるキャッシュレス決済の促進 財産調査(延べ1,500人分)及び差押(129件)などの滞納処分の実施 市税関係団体への支援等を実施 現年度分の収納率97.78%(前年度99.07%)対前年度 1.29ポイント減 滞納繰越分の収納率13.78%(前年度18.67%)対前年度 4.89ポイント減 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 収納率は、新型コロナウイルス感染症による特例徴収猶予や経済状況の悪化により、年度分・滞納繰越分ともは前年を下回り、市税全体として収納率93.14%(前年度94.11%)で、対前年度0.97ポイントの減となった。 滞納者に対しては、財産調査を行い、差押などの滞納処分による収税の確保が必要である。 法令に基づく適正な土地家屋の評価、関係機関との連携した調査等の実施により、公平かつ正確な課税を行う必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 現況調査に基づく適切な土地家屋評価を実施する。 税の公平性と適切な賦課徴収による財源の確保に努める。 徴収指導員、県当局並びに本庁や支所職員による滞納者への催告等により収納率の向上を目指す。 電話催告や滞納者の不動産や預貯金等の差押など積極的なアプローチにより収税確保に努める。 	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績		<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等		
次年度以降の考え方(担当課)		<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 固定資産の適正評価等に必要な経費を計上 市税徴収に必要な経費を計上 納税者の利便性の向上に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに